

2020年度 第2回 愛知校教育課程編成委員会「車体」会議報告書

1. 開催日時 2021年2月26日(金) 12:30-15:35

2. 開催場所 日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

3. 出席者

(学校外委員) 団体代表 諸戸 行雄 様 愛知県自動車車体整備協同組合 専務理事
 企業代表 大森 一也 様 日産自動車株式会社 グローバルアフターセールスエンジニアリング部 (オンライン参加)
 企業代表 小出 学 様 日産東海テクノ株式会社 工場長

(学校内委員) 学校長 松川 健一
 部長代理 鈴木 貴久 教育部
 統括 上谷 晃 教育部カーボディーマスタ科

4. 議題

ご挨拶

1) 日産3級車体・塗装結果について

2) ご意見をいただいた内容への取り組みについて

①ガラス脱着授業・スクラッチシールドへの取り組み ②特定整備(電子制御装置整備)について ③新素材への対応(アルミ、ハイテン材)について
 ④東京オートサロンTVボディージュップレポートYouTube

⑤コミュニケーション能力向上 ⑥自転車整備による技術向上 ⑦卒業に向けての取り組み

3) 21年度 主要取り組み

4) 制作車両の見学

5. 議論

1) 結論 前回の教育課程編成委員会でご意見いただいた内容についての取り組みをご理解いただいた。
 同時に、貴重な意見・指摘を頂いたため、今後の授業に反映していく。

2) 意見交換と質疑応答

議題区分	議題番号	項目	所属	質問者	主な意見
1)	-	日産3級車体・塗装結果について	学内		・愛知校の取り組みとして、過去問題とテキストを見比べた結果、過去問題ベースの学習では不合格になると判断し、学習のポイントを中心に、科目別問題と総合問題を改訂しながら学習を行った。結果として両試験が100%の合格ができた。学習のポイントを抽出していただき感謝をしている。
			日産自動車	大森様	・今年度はテキストの改訂を実施したことで、弊部署としては初めて学科試験の出題範囲に関するガイドを展開した。しかし、販社の試験結果は低く情報が受験者まで伝わってなかった事を反省する。このような状況で日産愛知校は、日頃の成果が発揮されてほしい結果を出していただいた。
	①	ガラス脱着授業スクラッチシールド	学内		・ご要望頂いた内容へ答える形となったが、実践に沿って、脱着部品を最小限にとどめ作業を実施した。学生には実践作業に則した内容となった。 ・スクラッチシールドについてはカリキュラムの都合上、説明のみに留まった。次年度以降について現物でキズの回復等の確認や、実習での導入を検討したい。ただ材料が非常に高価の為、通常の授業同様に大量に使用するのは難しい。
			東海テクノ	小出様	・フロントガラスは、外注化している。最終は、販社店舗に任せている。 ・スクラッチシールドを施している部品を交換しているため、教材として提供できる。 学校回答: 部品提供についてはとてもありがたい。ぜひ協力をお願いしたい。
			車体協同組合	諸戸様	・今後、ガラス脱着については、電子制御装置の特定整備を取らないとガラス交換ができない。ガラス業界も電装整備士を取得しようとしている。昨年の4月から、施行されているが4年間の猶予が与えられている。
	②		学内		・学内での学科については1級教員が実施を行った。実習では、1級4年生が先行して作業実技が終了している為、インストラクターとして学生サポートを行いながら実施した。先輩・後輩の関係の中でコミュニケーションを取り合いながら十分な学習ができた。振興会の講習受講とあわせ試験を3月8日に実施予定になっている。
			車体協同組合	諸戸様	・特定整備の認証については、愛知県全体で、2月末で5000社の内1000社で2割弱。愛知県自動車整備振興会会員の企業では129社の内50社となり、4割となっている。特定整備の整備主任者の試験に合格した場合、申請書を振興会が保管しているため、申請時には必要となるため、合格番号を控えておくこと。学校としては、振興会に確認しておくべき。
			日産自動車	大森様	・キャリブレーションの授業は今年度弊部署が講演したので今後も連携して協力出来ればと思います。 ・新型ノートのフロントガラスには高剛性ガラス接着剤が採用されているので、交換作業の際は注意してください。
2)	③	新素材の対応	学内		・水性塗料の講座をロッソハイパード棟に産学連携授業として実施頂いた。講座内容は水性塗料の特性・取り扱い・塗装技法について学習した。高張力鋼板やアルミニウムについては、教科書での内容からさらに掘り下げ、具体的に従来の技法ではなにがいけないのか? どのような事に気を配り作業を行えばよいか? 等を写真等を使い解かり易く説明を行った。
	④	東京オートサロンTV	学内		・車両制作については、完成した成果としてオートサロンTV出演や、プリンス名古屋様にご協力頂き店舗内展示することができた。制作車両説明については、オートサロンTVの動画を見て頂き、また実車の説明を行った。
			日産自動車	大森様	・制作車両は登録しないのか。 学校回答: 今回、ナンバー登録をしないコンセプトで車両制作を実施したため、登録は行わない。
			車体協同組合	諸戸様	・抹消登録をしている車両で制作するとよいと思う。
	⑤	コミュニケーション向上への取り組み	学内		・車両制作授業でのコミュニケーションについての取り組みと、学生からの所感について説明を行った。学生所感には、チームでの物事の進め方や、時間・納期の厳守など様々な意見がある事を説明した。 ・皆の意見を一つにまとめるは非常に難しいと思う。京都校との方向性の検討はあったのか。 学校回答: 京都校と車両制作の方向性等を合わせる事は行っていない。制作状況や使用材料等での情報共有は連絡を取り合い随時行っている。
			東海テクノ	小出様	
			車体協同組合	諸戸様	・グループで話し合いの時、意見を言わないということが不思議だと思った。我々のところは、大勢の時に意見を言ったものだ。
			日産自動車	大森様	・日産研修センターの講座においても、相手の性格を掴んで、均等に話が出来るように工夫している。

⇒

3)	-	21年度 主要取り組み (自主性・主体性) (ICT活用)	学内		・主要取り組みとして、学生の自主性・主体性の育成について、過去三年の中期計画(イベント/プログラム)並びに今後3年間の中期計画(授業形態での思考力・判断力・表現力を育む)を紹介。併せて、新たな取り組みとして、ICTを活用する授業形態について説明を行う。
			東海テクノ	小出様	・今後の授業を含み、すべてがPCが必要になると想定されるため、進めていくべきと思う。
			車体協同組合	諸戸様	・全国の理事会は、すべてオンラインで実施している。現在は、大学もオンライン授業が割合が多くなっている。これは学費等に影響がでるのか。 学校回答: 弊校の授業は大半が実習授業であり、対面も並行して実施されます。また、すべてがオンライン授業になるわけではなく、コロナ対応をはじめ、学生のみなさんによりよい授業が提供できる教科を対象とする予定です。学費への影響はありません。
			日産自動車	大森様	・日産研修センターにおいても、コロナの関係で受講者が激減した。遠隔で各工場とつなぎ、トレーニング出来ないか等、オンライン化を検討している。また事前に電子化で学科部分を発信する事で講座の受講時間を短縮することも検討。参加費用の削減や現場から離れる時間の短縮にもつながると考えている。今後は、日産校と同様、ICT化活用をスピードを持って取り組むべきである。

